

# 平成 29 年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

## はじめに

平成 28 年度は、熊本地震の被災地への JMAT(日本医師会災害医療チーム)派遣を通じ、災害医療の重要性を改めて認識させられるとともに、大隅曾於地区消防組合における管内搬送率が初の 50%を下回る事態となり、いかに救急医療を確保していくか課題が浮き彫りとなった年度でした。

医師の高齢化や医療従事者の不足等、我々が置かれている状況は非常に困難であると言わざるを得ませんが、医療情勢等を十分に見極めながら、医師会員、役職員一丸となってこの難局を乗り越えていきたいと思っております。

## 1. 公益目的事業

### 地域医療の質の向上を図り、住民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する事業

#### (1) 医療従事者の資質の向上及び人材育成・住民の健康意識の向上に関する事業

- 1) 医療従事者の資質の向上及び人材育成(学術講演会・研修会の開催及び奨学金貸与)

##### 【具体的な事業内容】

- ・ 薬剤師奨学生及び看護師奨学生募集
- ・ 地域の医療従事者への年 12 回以上の研修開催

- 2) 住民の健康意識の向上に関する事業(住民向け医療講演会・体験活動の開催)

##### 【具体的な事業内容】

- ・ 住民向け講演会の開催

#### (2) 高齢化の進んだ医療過疎地域において、医療介護の一体的な提供により住民の健康の保持増進に寄与する事業

- 1) 地域医療支援病院の機能を中核とした共同利用施設による医療・介護が一体となった総合的なサービスの提供

イ 地域医療機関から紹介された患者に対する医療提供、高度医療機器等の共同利用によるかかりつけ医の支援

##### 【具体的な事業内容】

- ・ 共同指導の実施と充実並びに共同利用機器の整備とその充実を図る
- ・ 地域連携室の業務充実により、連携強化を図る

ロ 医療介護の連携による在宅復帰及び在宅療養の支援

- 2) 救急医療の提供

イ 休日・夜間における初期救急医療の提供

##### 【具体的な事業内容】

- ・ 在宅当番医制度及び夜間急病センター、救急情報センター運営の堅持
- ロ 重症患者に対する第二次救急医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 地域医療支援病院である曾於医師会立病院の機能充実を図るとともに、有明病院においては、会員の施設の後方支援機関として救急搬送の患者の積極的な受け入れを行い、医師会立病院との救急医療の分化を行う

3) 災害医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 災害拠点病院(地域災害医療センター)の機能充実
- ・ DMAT 隊員の整備

4) へき地医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 曾於市立恒吉診療所の指定管理者としてへき地診療所での医療提供を堅持する

## 2. 収益事業

### 医師会立病院・有明病院・ありあけ苑における家賃収入、手数料等の収入

【具体的な事業内容】

- ・ 医師会立病院・有明病院・ありあけ苑における家賃収入、手数料収入等

## 3. その他の事業(相互扶助等事業)

### 患者・利用者が選択する療養等に関する事業及び会員相互扶助事業等

【具体的な事業内容】

- ・ 医師会立病院における評価療養及び選定療養に基づく特別の療養環境の提供等
- ・ ありあけ苑における利用者等が選定する特別な居室等の提供に係る基準等に基づく利用者等が選定する特別な居室等の提供
- ・ 会員医療機関に対する診療録等の販売